

7月8日（金）に南会津町立田島第二小学校で「特別の教科 道徳」の授業研究会が行われました。今回の授業では、「Yes」か「No」の2択で考える場面はなく、様々な道徳的価値に触れさせながら、子供の多面的・多角的な思考を促し、児童の思考の流れに寄り添ってコーディネートする教師の姿がとても自然で印象的でした。このようにとても内容のある授業でしたので、域内の各校に周知したいと思い、主な教師の発問と児童の発言を分析しました。



【手品師】のあらすじ

大劇場のステージに立ち、華やかに手品をするのを夢みる腕のよい、売れない手品師がいました。ある日、小さな男の子が、しょんぼりと道にしゃがみこんでいました。お父さんが死んだ後、お母さんが働きに出てずっと帰ってこないことを男の子から聞いた手品師は、男の子を元気づけようと手品を披露し、翌日も来ることを約束しました。その晩、手品師の友人から「明日、大劇場に出演しないか」と誘いの電話が来ます。手品師は迷いに迷いますが、男の子との約束の方を選択するというお話です。

教師(T)の発問 児童(C)の反応	よさ(O)と課題(●)
T：事前アンケートの内容の提示 ・仲良くすること ・清潔にすること ・毎日楽しむこと ・元気に健康でいること	
T：「みんなは明るく生活できていますか？」	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○●さらに自分事にしていくめあてに 事前にアンケートを集約したものを紹介していく導入です。アンケート内容をいかに生かすかがポイントになります。</p> </div>
C：(つぶやき) まあまあ。	EX：今日の気持ちは明るい？どの程度？
T：めあての提示	「まあまあ」ってどの位？
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 明るく生活することについて考えよう。 </div>	EX：健康って体のことだけなの？
T：教科書の範読	↓
T：(挿絵を提示し)「この場面はどんな場面かな？」	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんな心があると明るく生活できるの だろう？</p> </div>
C：「電話をもらった場面」	●子供の考えを広げたい
T：「この時、手品師はどんな気持ちだった？」	教師が子供の発言を繰り返すのではなく、他の子供たちに「それってどういうこと？」など聞き返すことが大事です。
C：・・・	○登場人物に「自我関与」させていく発問
T：「明るく電話をとりましたか？」	●人間理解につなげる
C：「大劇場と男の子のどっちにいくか迷っている。」	この「迷い」は「人間理解」（迷うのは当然である）につながるため、どうして迷っているのかをさらに聞き出したい場面です。
C：「二度とチャンスはない、大劇場に行きたい。」	●子供の考えを広げたい
T：「二度とチャンスはない、行きたい。」	より焦点化した問い返しが必要です。
T：「自分が手品師だったらどうしますか？」	EX：◇◇さんの「かわいそう」という意味、みんなはわかりますか？
T：「ネームカードを黒板に貼りましょう。」	↓
C：(つぶやき) よし、決まった。	EX：◇◇さんの「かわいそう」という意味、みんなはわかりますか？
(すぐに「男の子」の方に貼りに行く児童1名)	○登場人物に「自我関与」させていく発問
C達：(しばらく考え、席を立たない子供多数)	●人間理解につなげる
C達：(「男の子」の方に貼りに行く子供が続く。その後、「大劇場」の方に行く子供が続く)	この「迷い」は「人間理解」（迷うのは当然である）につながるため、どうして迷っているのかをさらに聞き出したい場面です。
C：「え～、真ん中は？」(迷う子供2名)	●子供の考えを広げたい
(その後「やっぱりこっちにするか」と大劇場へ)	より焦点化した問い返しが必要です。
T：「男の子の方に聞いてみます。どうして、こっちを選んだの？」	EX：◇◇さんの「かわいそう」という意味、みんなはわかりますか？
C：「だって」は強い理由をもっている時	↓
C：「約束したから。」	EX：◇◇さんの「かわいそう」という意味、みんなはわかりますか？
C：「だって、約束している男の子がかわいそうだから」	○登場人物に「自我関与」させていく発問
T：「◇◇さんの言っていることわかりますか？」	●人間理解につなげる
T：「男の子は悲しみますよね」	この「迷い」は「人間理解」（迷うのは当然である）につながるため、どうして迷っているのかをさらに聞き出したい場面です。
	●子供の考えを広げたい
T：「◇◇さんの言っていることわかりますか？」	より焦点化した問い返しが必要です。
T：「男の子は悲しみますよね」	EX：◇◇さんの「かわいそう」という意味、みんなはわかりますか？
T：「男の子は悲しみますよね」	○登場人物に「自我関与」させていく発問
T：「男の子は悲しみますよね」	●人間理解につなげる
T：「男の子は悲しみますよね」	この「迷い」は「人間理解」（迷うのは当然である）につながるため、どうして迷っているのかをさらに聞き出したい場面です。

T:「□□さんは、ちょっと考えてからカードを貼りに行っていたけど、何に迷っていたの？」
 □□:「先にした約束の方が大事だと思って」
 C:「約束は守らないとダメだから」
 T:「そう思う人？」
 C:(6、7人が挙手)
 T:「大劇場の方に聞いてみます」
 C:「お金持ちになるから」
 T:「手品師ってお金持ちなんだっけ？」
 C:「パンを買うのもやっ」と
 T:「やっぱりお金持ちになりたいと・・・」
 C:「だから成功したいと思っている」
 T:「大劇場って手品師にとって？」
 C:「夢」、「チャンス」
 T:「○○さんは、何かつぶやいていたけど・・・」
 C:「有名になれば、男の子もいいと思うはず」
 C:「有名になって、男の子にも見せたい」
 C:(つぶやき)「別の日に見せればいいんじゃない」
 T:「それはどっちの約束も大事にしているんだね」
 T:「黒板を眺めてみましょう。大劇場を選んだ方の気持ちは分かりますか？」
 C:(つぶやき)分かります。
 T:「男の子の方を選んだ気持ち、分かりますか？」
 C:(つぶやき)分かります。
 T:「“明るく生活”(板書のめあてを確認)に立ち返ると、手品師は明るくなったのかな？」
 C:(挿絵を見て)「笑顔だから明るくなった」
 T:「今日の感想を書いてみましょう」
 T:(追加で2つ指示)
 ① 友達の話聞いてみて思ったこと。
 ② これから自分はどんな風に生活していきたいか。
 C達:(ワークシートに記入)
 T:(指名して発表させる)
 C:「大劇場に出て、その後で男の子に・・・」
 C:「夢より、人と人とのつながりが大事」
 C:「**自分も**約束を守っていこうと思う」

◎子供の言動から内面をよく見る

・カードを貼る時の動きは、子供の内面が表面化する場面です。子供の表情や動き出しの早さ、遅さ、つぶやきはとても重要な情報です。

●「T→C→T」を「T→C→C」へ

子供をどうつないでいくかが課題です。
 EX:○○さんの気持ち、分かる？
 ○○さんの考え、自分の中にもあるかな？

◎●他者理解を促す発問

◎●自分との関わりで考える発問

・「分かります」とつぶやいた大劇場側の子供の発言の意味を問いたい場面です。
 ・多面的、多角的に物事を考えさせる重要な場面です。だからこそ、手品師の生き方や信条について焦点化していく問い返しが必要となります。
 EX:本当は大劇場の方に行きたいんじゃないの？
 男の子のために我慢しているんじゃないの？

◎書く視点の明確化

①は「他者理解」、②は「価値理解・人間理解」を促すことにつながる視点です。特に②は、自分との関わりで深めさせることになる視点になります。

●多様な視点に触れる場面

発表を聞く側に視点を与えることも大切なポイントです。
 EX:自分にはない考えがあるか？
 なるほどと感じたことはあるか？

◎自分事として感じている言葉

「自分も」とは自分の生活を振り返り、「自己を見つめている」言葉です。



ある子供のワークシート(本時で求めたい姿)

「お客さんが少なくても、そのお客さんが笑顔になれば幸せだと思う」と書いていました。これは、手品師としての生き方、根底にある誠実さ(たった一人だとしても、自分の手品を楽しむに待っている人がいる。だからその人を喜ばせることの方が大事)について深く見つめている言葉であり、価値づけたい学びの姿です。

道徳科の授業では「人間理解」「他者理解」「価値理解」の3つの理解に触れる展開が大切です。授業の様子をビデオで撮影したり、TC起こしをしたりしてみると、3つの理解を促す発問をしているか、多面的・多角的に思考する展開になっているかを分析することができます。授業構想や学習指導案作成の段階のみでも、夏季休業中の個別対応でも指導主事が伺いますので、要請訪問Ⅱ・Ⅲを積極的にご活用ください。「自ら学ぶ子供の育成」に向けて、一緒に考え合いませんか。

